



12月定例会

第177号

令和3年2月1日

# 議会だより

行政報告・補正予算	
条例制定・同意案件……………	2～3
町政のそこが聞きたい……………	4
一般質問……………	5～8
常任委員会の動き……………	9
決算審査特別委員会……………	10～11



新年会(令和2年1月10日):新築になった北標津寿の家にて



何が当たるか楽しみな宝引(ほうびき)



語らいのひととき

## 北標津老人クラブ

代表:岩倉保夫      会員数:28名  
年会費:3,600円      設立:昭和44年  
例会:月1回10日頃

発行/北海道標津町議会

編集/広報特別委員会

# 秋サケ漁昭和45年以降の 50年間で最低の水揚量に!!

## 金澤瑛町長の行政報告



### 基幹産業の状況

#### 酪農業

今年、4月から6月の天候が日照・気温・降水量とも平年並みに経過したこと、牧草の生育は総じて平年並みとなりました。今年の一草は6月中旬以降の天候不順により収穫作業が大幅に遅れた。一方、生乳生産量は今年4月から11月末までの8ヶ月間で前年並みの71786トンとなっている。生乳販売、個体販売、その他牧草等の総販売額は、乳用牛・肉用牛の個体市場価格の減少があったものの、生乳販売においては昨年同様の乳価（1kg当り100円台）で据え置かれ、さらに前年並みの生乳生産量を維持したことにより11月末現在では前年並みの78億8300万円となっている。

しかしながら、農家を取り巻く経営環境は依然として厳しく、新型コロナウイルス感染症拡大による需要の減少などが投資意欲の後退や農業経営の継続断念など、悪影響を与えることを大変憂慮している。

さらに、今後我が国は、人口減少と少子・高齢化の急速な進展から生じる著しい農業労働力不足が急速に進むものと考えられ、この中で新たな本町農業の成長に向け新規就農者に対する支援、農業コントラクター整備による農作業の外部委託化、酪農ヘルパーの整備による労働負担の軽減など、その対策が不可欠となっている。

#### 水産業

今年の秋サケ漁は11月23日に終了した。漁

獲結果は予測をさらに大きく下回り、対前年61%の1393トン（小定置網漁を含む）、漁獲尾数は対前年68%の48万9千尾と、昭和45年以降の50年間で最も低い数字となった。

また、本町の秋サケ水揚額は、対前年78.6%の10億2400万円（小定置網漁を含む）（昨年は13億3800万円）と、大変な不漁であった昨年よりさらに3億円弱減少し、過去50年間で最も悪い記録の大不漁となった。町単独で実施できる対策には限りがあるため、今後は、資源造成については広く根室地域の問題と捉え、近隣市町とも連携を取りながら、根室管内さけます増殖事業協会に協力していく必要があると考えている。

一方、ホタテ漁については、年間計画6080トンを超え、11月3日から

始まった冬操業も順調に推移しており、12月15日時点で漁獲量9680トン、漁獲金額16億7800万円を超えており、いずれも過去最高を更新している。単価は冬操業に入ってから堅調に推移し、通年では170円半ばを超える水準にまで回復している。

水産加工業は、加工用原料について資源の少なさと、魚価が昨年より約30%上昇するという原料高騰により、さらに、コロナ禍の影響も相まって従業員の確保も容易ではない等、水産加工業を取り巻く環境は、相当厳しさが増しているものと認識している。

加工場が懸命な経営努力を重ねていることから、町としてもできる限り、水産加工業の皆様を支援して参りたい。

## 標津病院を 取り巻く情勢

一点目として、久留米大学医学部への訪問について例年、10月下旬には、私と田中議長、大野院長、事務長の4人で、久留米大学医学部内科学講座の星野主任教授及び外科学講座の赤木主任教授を訪問し、本町への医師派遣についてお願いをしてきたところであるが、このコロナ禍において大学を訪問することは、ご迷惑をおかけすることになるので、両主任教授のご了承を賜わり延期をさせていただいた。

標津病院は、久留米大学医学部の手厚いご配慮によって安定した医療体制が確保できていることから、今後、両主任教授と十分な協議をしながら、新型コロナウイルス感染症が収束傾向に向かう状況となった場合に改めて

訪問させていただき、本町への継続的な医師の派遣についてお願いをして参りたい。



救急入口前に設置されたプレハブ

二点目として、新型コロナウイルス感染症対策について標津病院では、従来から発熱外来を実施していたところであるが、12月7日付で北海道との間で新型コロナウイルスの検査実施医療機関としての委託契約が締結されたことから、院内への感染リスクを低減するために救急入口横にプレハブを3基設置し、看護師等を配置する中で検体採取や血液採取を行う発熱外来を12月15日より開始したところである。

## コロナ禍における 年始行事の開催状況

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため

3密（密集、密接、密閉）を避ける観点から町内外の各種行事が中止若しくは延期されているが、例年開催されている年始の行事等においても、次の様に開催するとの連絡を受けているものがあるので、ご報告する。

例年、1日に開催されている川北連合町内会新年交礼会及び、4日に開催されている標津地区町内会連合会新年交礼会は中止、6日の標津漁業協同組合地方卸売市場初せり及び標津消防団出初式については規模を縮小して開催、11日の新春「鮭飯寿し」大試食会は中止されることとなったほか、町内会関係では住吉東浜町内会の新年会についても中止を決定したとの連絡を受けているところである。

なお、標津町成人式については、感染防止対策を徹底したうえで7日に挙行する予定。

## 一般会計の補正予算（主なもの）

（単位：千円）

項目	金額	内容
ふるさと応援基金積立金	21,732	ふるさと応援寄付受納額の積立て
水産資源等調査促進事業	5,125	前浜の水産資源や海洋環境等に関する調査への補助
種苗購入負担金	3,078	ニシン及びウニの種苗購入の負担軽減並びにニシン漁価向上に係る調査検討への補助

## 条例の改正

- 標津町中小企業緊急融資支援基金条例制定
- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定
- 職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部を改正する条例制定
- 標津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

## 同意案件

固定資産評価審査委員会委員  
標津町字川北本通6番地

山本 祐一 氏

〈任期〉令和2年12月20日～  
令和5年12月19日

## 一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。  
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

# 町政のそこが聞きたい

令和2年第4回定例会(12月17日)で4議員が一般質問をしました。  
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

## 小川 悠治 議員

5ページ

### ● 『過疎地域指定』標津町残留の見込み

#### 新過疎法案

町財政への影響を問う！

過疎法は議員立法で1970年に初めて制定。その後、10年おきに新法として更新されてきた。過疎地域に指定されると、国が返済額の7割を負担する過疎対策事業債を発行できるほか、国庫補助率がかさ上げされる。

#### 過疎新法



質問中の小川議員

## 木下 孝 議員

6ページ

### ● 任期満了に伴う町長選挙

金澤町長の進退を質す

所懐を述べる金澤町長



質問中の木下議員

## 吉田 智 議員

7ページ

### ● 【働き方改革】～「ちょっと手伝って欲しい」「ちょっと働きたい」を繋ぐ～ 『しごとコンビニ』の導入を！

### ● 情報

ZOZO創業者・前澤友作氏のツイート 8億円寄付します

「#ふるさと納税8億円活用案募集!!」

『英知と胆力を全集中』し  
有益な情報にスクランブル発信できる体制を！



質問中の吉田議員

## 石橋 昌幸 議員

8ページ

### ● 新型コロナウイルス感染症

標津町の対応を問う！

### ● 定置網漁の今後と町の対応を問う！



質問中の石橋議員



小川 悠治 議員

**問** 過疎法は1970年に制定された。その後10年置きに新法として更新されてきた。

来年3月に期限切れを迎える過疎法。12月8日、その自民党案の概要が判明した。

これまでに

**資料1**

10月22日

道内危機感!!

7月6日

過疎法見直し

基準年は1975年に変更。ただし、今までの過疎地域は現行法の基準年である1960年も併用する

財政力指数が0.4以下の市町村は基準の人口減少率を緩和※1

対象から外れる市町村の経過措置期間を最大7年間に延長

**新たに追加される自治体**

オホーツク管内斜里町、上川管内上富良野町

**対象から外れる自治体**

富良野市、後志管内京極町、石狩管内新篠津村

**当初案で対象外の可能性があったが、残留となる自治体**

後志管内ニセコ町、留寿都村、共和町、空知管内長沼町、月形町、上川管内鷹栖町、宗谷管内猿払村、十勝管内鹿追町、更別村、釧路管内鶴居村

案通りなら現行の対象149市町村が148市町村に

※1 人口減少率マイナス28%⇒同23%に緩和する

**資料1**

新過疎法(自民党案)のポイントと道内の対象自治体の見直し

**新過疎法案**

町財政への影響を問う!!

『過疎地域指定』 標津町残留の見込み

**資料2**

**根室管内の財政力指数**

財政力指数 =  $\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$

根室市	0.330
中標津町	0.383
別海町	0.272
羅臼町	0.260
標津町	0.216

今回の自民党案に於いては、当町は残留の見込みであり、安堵の念に堪えない。

来年の通常国会に新過疎法案提出(道内13市町村対象外の見込み)と、新聞に報道されてきた。令和元年度迄の10年間で、年度平均にして4億2500万円の国の支援(過疎債)を受けて来た標津町。「過疎地域」の指定から外れる事は、自主財源の乏しい当町にとっては、財政的に大打撃である。町長は、戦々恐々として、奔走された様である。

**資料3**

**財政力指数**

一般的に交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3か年の平均値をいい、地方公共団体の財政力を示す指数として用いられる。

財政力指数が1を超える場合、すなわち基準財政収入額が基準財政需要額よりも大きい場合は、当該地方公共団体は普通交付税の不交付団体となるが、その団体はその超えた分だけ標準的な水準を超えた行政を行うことが可能となる。また、財政力指数が1以下の団体であっても、1に近い団体ほど普通交付税算定上のいわゆる留保財源が大きいということになり、財源に余裕があるといえる。現行制度上では公共事業に係る経費について、国の負担割合の引上げ適用団体を定める基準に用いられるなど、国が各種財政援助措置を行う場合の財政力の判断指標とされている。

当町は、根室管内に於いて、財政力指数が最も低い。(自主財源率が低く依存財源率が高い)

**資料2、3**

その中で基金残高が令和元年度で4億3000万円に達している。これは、行財政改革とこれに取り組む職員の研究のためのものである。

基金の保有高は「過疎地域」の指定要件に含まれているのか。更に、新過疎法案に係る町財政への影響を問う。

**答** 指定要件は「※2人口減少率が大きく、且つ、財政力が低い市町村を対象」としており、基金保有高は直接関係しない。

※3 過疎債:過疎対策事業債の略

※2 標津町の人口減少率:マイナス32.6%

任期満了に伴う町長選挙  
金澤町長の進退を質す

副任→副任

多選回避・惹起責任・家庭事情

政策を継続する後進に託したい



木下 孝 議員

**問** 令和3年6月23日、

金澤町長は、4期16年の任期満了を迎える。

それに伴う標津町長選挙に関して、町民は強い関心を寄せている。人口減少時代に即応する行政政策及び重要課題解決策等の継続が望まれている今日である。

町長は、後援会・産業・経済団体より金澤

町政の継続を要望され、強く5選出馬を要請されたと拝聞している。5期目の進退に関して、金澤町長の所懐を質す。

**答** 大変重い質問を受けたが、明年6月で4期16年の節目を迎える。

御指摘の通り、5選目の出馬要請を受けた。今まで取り組んで来た政策運営が否定されず、一定の評価を受けた事に対し、身に余る光栄に存する所である。

5期目の進退に関して、私の所見を述べさせていただきます。



【「5選不出馬」、勇退を表明する金澤瑛町長】

① 5選目となると「多選」と言われる。町政は絶えず新しいものを求められている。マンネリ化を防ぐ為に多選を回避したい。

② 「昨年※惹起した町職員の自殺した問題の責任を取る」この事が、頭を大きく支配している。

③ 本年10月、妻が体調

※【惹起】「ジャッキ」…事件・問題等を引き起こす事を崩したという、家庭の事情もある。

これらの事情を総合的に判断し、知力・体力・気力の余力のある内に身を引かせて頂き、後進に道を譲りたい。御理解を頂きたい。

**問** 「継続性」を最大の観点として、後継となる後進に望む事は。

**答** 国保標津病院は久留米大との信頼関係を維持している。医師4人体制の堅持を切望する。安定した医療体制は、町民の財産である。子育て政策等で人口減少率が鈍化し、合計特殊出生率も上昇し、徐々にその効果が現れて来た「政策パッケージ」を継続し、新たな手法で課題解決に取り組み事に期待する。

木下議員は後継者の早期表明を切望し降壇



吉田 智 議員

**問** 上川管内東川町において、働き方改革の一環として、「ちよっと手伝って欲しい事業」と「ちよっと働きたい人」を繋ぐ『しごとコンビニ』事業を、本年4月より開始した。

**参考資料** 子育て中の母親や高齢者が地域で活躍する場となり、人手不足の事業者の手助けになっている。

働く人にとっては、収入を得るだけでなく、社会と人との繋がり、やり甲斐や生き甲斐、居場所を得ている。

「ちよっと手伝って欲しい」「ちよっと働きたい」を繋ぐ働き方改革『しごとコンビニ』の導入を！

**東川町『しごとコンビニ』説明会の案内(抜粋)**

**参考資料**

**しごとコンビニとは**

企業や個人の方の「ちょっとだけ手伝ってほしい」という声と、住民の「ちょっとだけ働きたい」をつなげる仕組みが「しごとコンビニ」です。  
しごとコンビニでは、企業に雇用されることなく、自分の都合や希望に合わせて、自分らしく働くことができます。

**こんな方にオススメ**

- すき間時間を有効に活用したい方
- 育児や介護等と両立しながら働きたい方
- 経験やお仕事のスキルを活かし、誰かの役に立ちたい方
- 自分にあった仕事を見つけたい方
- 復職前にトレーニングをしたい方
- 様々な人との繋がりを作りたい方

自分の都合や希望に合わせて、自分らしく働く事ができる制度で

ある。

『しごとコンビニ』は、「人が仕事に合わせるのではなく、仕事を人に合わせる事で、働く事を楽しんでもらう」を基本理念に、岡山県奈義町が2017年に始めた事業が基になっている。

どの地域においてもこの様な需給のニーズがある。

地域の働く人と仕事を発掘して繋ぐ『しごとコンビニ』。

標津町においても、導入を検討しては如何か。所見を質す。

**答** 成功例を模倣する「二番煎じ」は大いに結構。昔から「人材は限られる、労働力は需給の隔たりがある」と言われている。需給の均衡を取り、やり甲斐と言った付加価値を高める『しごとコンビニ』。

素晴らしい取り組みである。

本年6月、農協が労働力調査を行った。搾乳・哺育作業・採草時期・除糞・牛舎清掃等に人手が足りないとのアンケート結果。介護・医療現場においても人手不足。

「ちよっと人手が足りない、人手が欲しい」需要に対し、供給をマッチングして行く事を大いに検討する事が求められる。  
『しごとコンビニ』初期投資が掛かるが、前向きに捉えて、実施して行く事が基本姿勢。

**情報**  
Zozo創業者・前澤友作氏のツイート  
8億円寄付します  
「#ふるさと納税8億円活用案募集!!」

**「英知と胆力を全集中」し有益な情報にスクランブル発信できる体制を！**

**問** 標津町には、事業アイデアとなる題材が豊富である。今回の前澤氏のツイートの様な情報を常時、収集・検索・検討・発信できる所管横断型の組織が肝要。「英知と胆力を全集中」し、スクランブル

ル発信する体制を。  
**答** 各課題に関しては、企画政策課プロジェクト推進室が窓口となり情報共有・課題整理を所管と連携して推進中。「英知と胆力を全集中」肝に銘じて、取り組んで行く。

## 新型コロナウイルス感染症

### 標津町の対応を問う！



石橋 昌幸 議員

**問** 北海道ではどこで感染者が出てもおかしくない状況下で

- ① もし標津町内で感染者が出たらどのような対応するのか
- ② 標津町職員に感染者が出た時の対応方法は
- ③ ワクチンは期待しているが現状は

**答** 今年はコロナに明けコロナに暮れた一年だった。町内の宿泊施設や飲食業関係者にとって危急極める状況だ。住民に感染者が出

た場合、中標津保健所の指導を受けると共に厚生労働省や北海道からの情報を得て、法律に基づき、公表し対応していく事になる。公表に当たっては個人情報に留意していく必要がある。町職員が感染した時は、庁舎を一時封鎖し、消毒することや濃厚接触者の検査をすることになる。その場合でも通常の業務に支障にならないよう、文化ホール等に分散して業務を行う。ワクチンは、国内外での研究が進められている。接種時期は定かでないが、令和3年前半に全国民への接種を目指していると聞いている。

### 定置網漁の今後と町の対応を問う！

#### 資源拡大を第一にして対策を講ずる



定置網漁の作業の様子

**問** 標津町は山の幸と海の幸の恩恵を受けて成り立っている。一方の基幹産業である秋サケ漁は、ここ数年不漁が続ぎ、今年にあっては最悪となり、存続すら危い。

- ① この状況の認識と対応は
- ② 近年海水温が上昇し、温暖な海を好む魚が漁獲されている異変が起き、その事に対応して収入源の入れ替わりを

受け入れているところもあると聞いている。それを考えて漁業関係者〔28カ統〕の経営の有り方とそれらに関わっている水産加工業者を含めて、どう対応していくのか

**答** 今年の標津漁協の秋サケ漁は昭和45年以降この50年で最低の漁獲量となった。北海道全体でも5万トン割っており北海道は、危機感を持ち「秋サケ

資源対策協議会」を立ち上げ対策を講じている。その内容は①秋サケの資源状況・資源能力②調査研究の推進③民間放流事業の改善である。早い成果を期待する。サケ定置漁場は現在28カ統だが平成30年末の切り替え時に議論があったと承知している。町としては資源拡大を第一と考えているが、漁業者の経営改善・合理化の前向きな取り組みには、町財政に限りはあるが応援していく。ここ数年、暖流系の魚の漁獲は大幅に増えているが、これを水産加工すると相当の設備投資が必要となる。漁価も安価で補助的な扱いとならざるを得ない。水産加工業は働く場所を提供しており、漁業と並んで大切な基幹産業で、2つの産業の『現在』『これから』について関係者と協議していく。

# 常任委員会の動き

## 町内行政研修

総務

経済

第11回 (11月27日)  
総務経済常任委員会

### グリーンランド標津の状況

農 家 戸 数	23戸
所有農地面積	2393.6ha
総 飼 養 頭 数	5,059頭
うち搾牛頭数	2,870頭
生 産 乳 量	25,250 t
元 年 度 費 用	511,633(千円)
元 年 度 収 益	485,625(千円)



トド山の飼育施設

説明 農林課

### 『(仮称)サーモンパーク観光センター施設』の動向

説明 企画政策課

前回の委員会(9月23日)以降の動向について説明があった。

観光団体と町(商工観光課・企画政策課)との協議内容の提示後、各委員から数点の発言があり、町としては観光団体に対して精査の

うえ結果を報告して行くとの説明。

また、基本設計(設計指針)や令和2年10月〜令和3年4月までの実施設計工程表(5月工事着工予定)が示された。

文教

福祉

建設

福祉

### 第10回文教福祉建設常任委員会

10月23日(金) 当委員会

は第一委員会室において、標津町保健福祉センター守田次長より、次の2点に関して説明を受けた。

① 標津町社会福祉協議会(位置付け・性格・活動原則・機能・主な事業例・現状)に関して

- (1) 位置付けは社会福祉法により地域社会の推進を図ることを目的とする団体である
- (2) 性格はボランティアにより構成され、共同募金等を行う
- (3) 活動の原則は住民ニーズが基本となる
- (4) 機能は地域福祉推進の中核組織として発揮する
- (5) 主な事業は住民の生活支援事業等である

② 障がい者グループホームのこれまでの経過と今後の予定に関して

- (1) これまでの経過  
平成30年3月 障害者基本法に基づき「障がい者基本計画」等を策定。その後アンケート等の実施があり、施設の整備計画が進められた。
- (2) 今後の予定  
・ 令和2年11月 家賃の設定、家賃助成の検討、入所者の募集  
・ 令和3年1月 入所者の決定  
・ 令和3年2月 事業所の新規指定申請  
・ 令和3年3月 (建物完成、備品搬入)  
4月(施設開設)

# 決算審査特別委員会

令和2年10月12日～16日

## 決算審査報告

決算審査特別委員会  
は、第3回定例会にお  
いて、議長・議員選出  
監査委員を除く8人の  
議員により設置され  
(南憲治委員長・山崎  
陸郎副委員長)一般会  
計・8特別会計・合計  
9会計の決算審査を付  
託され、10月12日から  
16日までの審査日程を  
決定。

理事者及び各課主査  
以上の職員が出席し、  
各施策を円滑かつ慎重  
な質疑応答の後、10月  
16日総括質問を以って  
審査を終了、委員会と  
して、各会計とも原案  
通り全会一致で認定決  
定した。

令和2年第4回定例  
会において、南委員長  
から審査報告がなされ、  
各会計とも委員長報告  
の通り認定された。

議案番号	議案名	審査結果
認定第1号	令和元年度標津町一般会計決算	認定
認定第2号	令和元年度標津町国民健康保険特別会計(事業勘定)決算	認定
認定第3号	令和元年度標津町国民健康保険特別会計(病院事業)決算	認定
認定第4号	令和元年度標津町介護保険特別会計(事業勘定)決算	認定
認定第5号	令和元年度標津町介護保険特別会計(サービス事業勘定)決算	認定
認定第6号	令和元年度標津町後期高齢者医療特別会計決算	認定
認定第7号	令和元年度標津町簡易水道特別会計決算	認定
認定第8号	令和元年度標津町下水道特別会計決算	認定
認定第9号	令和元年度標津町金山地域休養施設等特別会計決算	認定

## 委員会報告

委員会審査報告書に  
は次の意見を付して、  
議長宛に提出した。

重要な財源である各  
税の収納業務について  
一定の評価はできるも  
の、保険税、各保険  
料・使用料等の滞納額  
の現実を視ると住民の  
公平負担の原則に反す  
るもので、健全な財政  
運営を執行するうえで  
不可欠の条件である。

特に国民健康保険税  
は、収入未済額が現年  
度、滞納繰越額共に増  
えていることから、尚  
一層の努力をすること。  
現年度完全収納を基  
本として滞納額の解消  
に尚一層の努力をされ、  
滞納者の対応について  
は個々の生活実態に応  
じた、きめ細かな対応  
が必要であり粘り強く  
収納に当たりたい。

# 一般会計

## 令和元年度 まちの決算書

**歳入** 75億1,513万円

**差引**

**歳出** 72億7,686万円

**2億3,827万円**

歳出

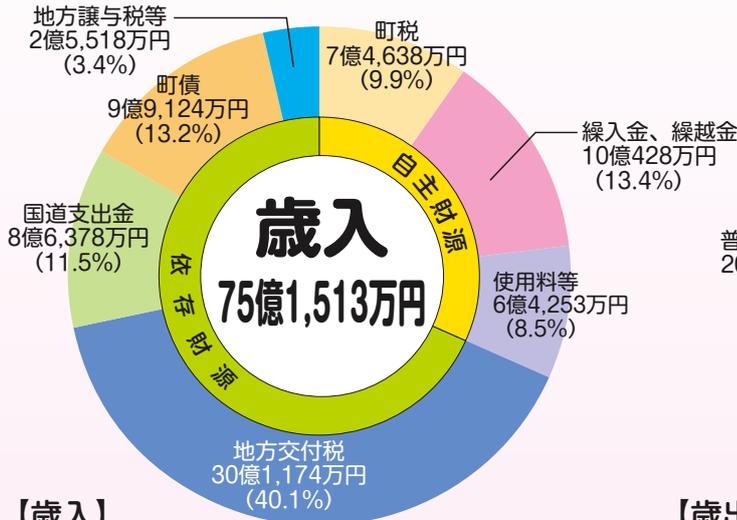
対前年比

※ **3.1%増**

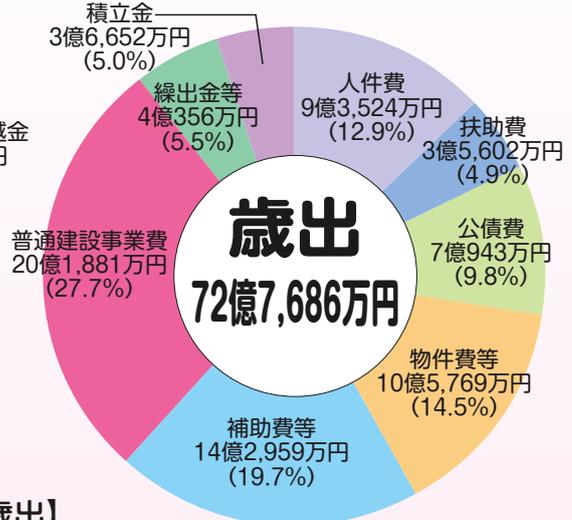
～町民力・地域力・行政力の結集によるまちづくりの推進～

※歳出増の主な要因…農業施設建設支援があった。

### 「財源別」内訳



### 「目的別」内訳



【歳入】

自主財源 23億9,319万円 (31.8%)  
依存財源 51億2,194万円 (68.2%)

【歳出】

町債 = 借金

公債費 = 返済金

積立金 = 貯金

### 各会計 歳入・歳出決算総括表

町民1人当たりが負担する町税  
**14万7,274円**  
【参考：札幌市は17万812円】

町民1人当たりが受けるサービス  
**143万5,845円**  
【参考：札幌市は52万2,432円】

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		75億1,513万円	72億7,686万円	2億3,827万円
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	8億9,567万円	8億8,631万円	936万円
	介護保険特別会計(事業勘定)	4億1,230万円	4億0,633万円	597万円
	介護保険特別会計(サービス事業勘定)	2,969万円	2,969万円	0
	後期高齢者医療特別会計	1億3,861万円	1億3,836万円	25万円
	簡易水道特別会計	2億0,870万円	2億0,870万円	0
	下水道特別会計	2億9,635万円	2億9,635万円	0
	金山地域休養施設等特別会計	1,380万円	1,380万円	0
	特別会計合計	19億9,512万円	19億7,954万円	1,558万円
企業会計	国民健康保険特別会計(病院事業)	9億0,953万円	9億0,933万円	20万円
	資本的収支	9,955万円	9,955万円	0
	企業会計合計	10億0,908万円	10億0,888万円	20万円
総計	105億1,933万円	102億6,528万円	2億5,405万円	

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。

寄稿



明るく豊かな社会を築くために

Kuni OFFICE

代表 高桑 国博

「個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために率先して行動することを宣言する」

昭和45年生まれ、中標津高校を卒業後、札幌商工会議所付属専門学校2年過程を終え札幌市内の東急ストアの鮮魚部に入社、24歳の時、帰郷し家業だった(有)高桑商店(食料品スーパー)に勤務。冒頭の言葉は、仕事の傍ら青年会議所に入会し、40歳で引退するまで16年間刷り込まれた言葉です。

小学校1年生で新聞配達、5年生の時、開店した家業の仕入伝票チェックと品出し、レジ、お年寄りとのコミュニケーション等、一通りこなして、タバコや酒の銘柄も頭に入っていました。興味は働いてお小遣いを頂き、プラモモデルを買う事でしたので、家で勉強をした事は数えるくらいだったと記憶しております。しかしながらそのスーパーム、モーターゼーション、隣

町に進出してきた大型スーパーへの購買流出、店舗設備の老朽化、仕入問屋の撤退等、時代の流れの中で昭和55年創業の(有)高桑商店は閉店しました。

1995年にアメリカから入ってきた「ウインドウズ95」の日本発売が開始されたニュースを見た時、これは何かできると直感し、標津町で一番先に最先端の技術を生かそうと考えグラフィックデザインのまねごとを始めました。自分でもあり、閉店しても、自分で興した事業で乗り切れる、看板やグッズ、デザインや印刷等、何でもできる「便利な会社」にしようと思っております。

そんな思いで興した事業も地域の皆様に支えられ今に至っております。

昨年からは、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出自粛や行動が制限されたインターネットを使用した

テレワークの急速な普及は多様な働き方を可能にしております。

私も人件費の削減で数年前から道内の在宅デザイナー数名とテレワークでデジタルデータの送受信をしておりました。幸いにも標津町内では光回線が開通されており、このことは、地方から全国・世界へ発信できる機会も大きく広がるなど大きな可能性も秘め、都会では会社に帰属するという働き方に変化をもたらせております。

人間らしい幸せとは何か、都会中心だった社会のあり方を見直し、一人一人が心地よい場所で人生を過ごすことができる、新たな時代を迎えようとしているのではないのでしょうか。

標津町のように、暮らしやすく、人が温かい。そんなシンプルなことが一番、魅力的に感じられるのだと思います。家族と過ごす

時間が増える、四季折々の旬の美味しさを味わう、大切に受け継がれてきた伝統文化に触れる、気軽にスポーツをする、都会の人にも標津町に住むことを勧めたいと思っております。

私は、今年50歳になりました。未曾有の事態が収束しない世情ですが、今後は、現在まで僕が習得してきた、機械のオペレーションや会社経営の話等を地域の児童や生徒たちに伝えていきたい。また、会社の設備を一部開放し、美術教室の開催、都会で活躍しているフアッションモデルさんや企業広告カメラマンを招いての写真の勉強会等、なかなか体験できないことを体験させる事によって、好奇心を刺激し、この町を巣立っていったとしても、Uターンして標津町の発展に携わるような若者をひとりでも増やすことに貢献していきたいと考えています。

「明るく豊かな社会を築くために」

それにはまず、社会最小単位である夫婦、家族から仲良く僕自身も明るく元気に過ごしていきたいと思っております。

編集室



昨年一年間は新型コロナウイルスのため町内のイベントが大半中止となりました。町議会の活動も同様で、町議会や委員会ものは通常どおり実施したものの全国・全道・根室管内の会議・研修・視察等は中止となった。町内での現地向かいの意見交換等も延期せざるを得なかった。

そのような状況だから町内の各種団体や事業所も同様に不便な日常だったと思う。人が動かないため、宿泊・飲食業に従事される方ははじめ多くの町民に悪影響が今も続いている。一日も早くコロナが収まり、本日の日常に戻ることを祈念して。

(大垣 勇)

大垣 勇 委員長  
 山崎 英司 委員  
 山崎 陸郎 委員  
 田中 孝幸 議長  
 広報特別委員会